



天文台だより

銀河の森天文台
2025 春号
Vol.107

2025/1/1 元日の夜空に低緯度オーロラが現れました！



2025 年 1 月 1 日の夜に、低緯度オーロラが出現しました。第 25 太陽活動周期の銀河の森天文台の観測では、10 回目の観測となります。

1 月 1 日の夜は好天に恵まれ、低緯度オーロラが出現した 21 時頃から夜が明けるまでのほぼすべての時間を記録することが出来ました。今回の低緯度オーロラでは、始まりから夜明けまでの間に 4 回のピークがあり、ピーク時にはオーロラに筋状の構造を確認することができました。

2024 年の低緯度オーロラに関してはあまり天候に恵まれませんでしたでしたが、2025 年は幸先の良いスタートとなりました。今後の低緯度オーロラの出現にも期待です。

「館長コラム」

たんだん日没が遅くなり、日が長くなるのを実感するこの頃となりました。春先は、日中の気温が高くなり、地上のダストが空中に散乱して霞がかかったような空になります。5 月になると新緑と透明感のある青空が広がります。夜が短くなりますが、この時期に楽しめる星座がありますので楽しんでいただければと思います。



館長 津田浩之(双子座)

さて、最近リチウムイオン電池の発火による火災が増えていて注意喚起がされています。電化製品には様々な充電可能な電池が使用されていて、過充電や衝撃、高温環境下での発火が報告されています。私もデジカメやスマホ充電用のバッテリー、手持ちの扇風機など多持っています。気が付くと充電器に挿したままになっていたりしていましたので、火災のリスクがあったと考えられます。天体やオーロラ撮影で外に出かけた時には、大容量のポータブル電源を使用していました。最近連絡があり火災の危険があるとのことで、国からリコールの指示があったようです。手ごろな値段で大容量の電源を確保できていて重宝していたのですが、返品返金対応ということになりました。代替品はなくて代わりの電源は別の製品を購入するしかなさそうです。より安全な国産のポータブル電源はかなり高価なものとなります。安全には代えがたいことなので仕方がないですね。生活の中に深く浸透している充電型家電のほとんどはリチウムイオン電池が使われています。このリチウムは原子番号3番で宇宙が誕生したビックバン時に誕生したと言われている元素です。だから発火するというわけではありませんが、もういちどご家庭でリチウムイオン電池を確認してみてください。ビックバン寸前かもしれませんので。

春のイベント情報 !!

☆春の大三角と天体観望会

春の大曲線から大三角へ、春の天体をめぐる観望会を開催します。皆様のご来館をお待ちしております。

開催日：4月23日(水)～5月6日(火)

※ 4月28日(月)、29日(火)、5月5日(月)、6日(火)は、特別開館いたします。

※ 4月30日(水)、5月1日(木)、7日(水)、8日(木)は、振替休館いたします。

※ 4月26日(土)～5月6日(火)GWに伴い、お昼12時から開館します。

説明会：午後7時30分から(土・日・祝日のみ)

浦島久写真展を開催しました！

2025年1月15日～2月9日の期間、十勝で活躍されている写真愛好家、浦島久氏のハルニレの風景・ジュエリー・アイスの写真展を開催しました。1月18日にはフォト&トークイベントも開催し、ハルニレの木をめぐるとご家族やさまざまな方々とのつながり、アートと音楽とのコラボレーションなど、心あたたまるフォト&トークの融合イベントとなりました。

2024年度銀河の森天文台写真展を開催しました！

毎年開催しているイベント「2024 年度銀河の森天文台写真展」を 2025 年 3 月 7 日～23 日の日程で開催しました。

写真展では、最近の一年(2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月 28 日)で撮影した天体や星空の写真を公募し、展示しています。今年も、天文台撮影の 27 枚に加え、応募された 14 名 25 枚を含めて、52 枚の写真を展示しました。応募されたみなさま、ありがとうございました。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月 1日	5:04	17:55	2.7	6:12	21:50
4月15日	4:39	18:11	16.7	20:36	5:18
5月 1日	4:14	18:30	3.3	6:16	23:09
5月15日	3:57	18:46	17.3	21:35	5:00
6月 1日	3:43	19:03	5.0	8:42	23:35
6月15日	3:39	19:12	19.0	22:16	06:58

天文行事 & 暦

4月

4 清明(24節気:太陽黄経15°)
13 ○満月
20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
22 水星が西方最大離角
(光度:0.4等, 離角:27°.4)
23-5/6 春の大三角と天体観望会
27 金星が最大光度(-4.8等)
28 ●新月
28,29 特別開館
30 振替休館

5月

4/23-5/6 春の大三角と天体観望会
1 振替休館
5 立夏(24節気:太陽黄経45°)
5,6 特別開館
7 土星の環の消失
7,8 振替休館
12-23 天文台メンテナンス休館
13 ○満月
21 小満(24節気:太陽黄経60°)
27 ●新月

6月

1 金星が西方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:45°.9)
5 芒種(24節気:太陽黄経75°)
11 ○満月
21 夏至(24節気:太陽黄経90°)
25 ●新月



暮らしと宇宙「何のあと？」

ある冬の昼、雪が降った翌日のこと、天文台周辺にチューリップの花のような模様が残されていました。エゾシカの足跡です。姿は見えなくても、ここにいたんだなあというのがわかります。

跡といえば、私たちが眺めている天体の光は、すべて「跡」のようなものと言えるかも知れません。

なぜなら、地球に近い月ですら約38万kmの距離があり、光速でも1秒少し時間がかかるように、私たちが見ている天体たちの姿は、常に今よりも前のものになるからです。

あの星まではどのくらい遠くて、どのくらい前の光が届いているのかな？時間や空間を想像しながら夜空を眺めるのも楽しいですね。(守)



星座小断「力を象徴するしし座」

春が始まり段々と夜が短くなり少し寂しさを感じますね。今回は春の星座の中からしし座についてお話していきます。

しし座の起源は5000年以上前のメソポタミアと言われており、最古の星座の1つです。しし座で最も明るい星レグルスはラテン語で「小さな王」の意味を持ち、古代ローマでは「王の星」を意味するstella regiaと呼ばれました。

古代ではライオンの姿が王国、レグルスが王そのものを表しており、しし座は権威や力を象徴するものだったと考えられています。

しし座の獅子は神話のなかではネメアの森に住む人食いの獅子とされています。神話の中の獅子は不死身だったため、退治しに来た英雄ヘラクレスは苦戦を強いられました。神話からも獅子が古代から強さを象徴していたことがうかがえます。

そんなしし座ですが、頭から胴体にかけて「？」を左右に反転させたような、非常に見つけやすい形をしています。初めて星座を探す方などもこの春、しし座から探してみるのはいかがでしょうか。(寺)



天文台からのお知らせ

☆ 4月より、入館料を下記のとおり改定いたします。
昼間・夜間の区分がなくなり、一律料金となります。

小人(小・中学生)	大人
300円	500円

☆ 4月より、開館時間が14:00~22:30 となります。
☆ 4月28,29日、5月5,6日(月・火)は、特別開館いたします。
☆ 4月30日、5月1,7,8日(水・木)は、振替休館となります。
☆ 4月26日(土)~5月6日(火)はお昼12時より開館します。
☆ 5月12日(月)~23日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。

定員: 10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
上映時間: 午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
上映番組: 「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp X(旧Twitter): @ginganomori_obs



裏面もあります